

COOP-JOSO News Letter

【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故から1年

【もう一度、生産者と共に復興と再生】

～福島県相馬市原釜漁港～

相馬復興第一弾商品 松前漬「ねばうま」登場！



原発事故による放射能の影響で出漁できず、いまだ漁港、地域の加工施設とも津波で壊滅した1年前の姿のまま。

「復光」第一号加工場が人々の協同でついに立ちあげ！

前浜の魚は使えないけれど、全国の仲間の素材の加工から再始動



常総生協組合員の皆さまへ

本品はいまだ復興の出来ない私たちに、物資の支援でなく、「自立の支援」として全国の特産品が集まり合体した商品です。

特に常総生協様から提供して頂いた醤油は安全性もさることながら、豆の風味、味わい、香りが残る濃厚な逸品で、今回の松前漬を更に美味しく仕上げる事が出来ました。

今後の相馬市はどの様になるかまだ分かりませんが、私たちはこの相馬で何とか産業を作り、皆で生きて行きますので、今後とも皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。

相馬はらがま朝市クラブ 代表 高橋永真



【原発もういらぬ！いばらきの女たちがつながろう、立ち上がろう！】

命を大事にする地域社会は女が変える！

5月9日(水)東海村はじめ原発近隣市町村の女性たちとの交流会開催

●東海村の女性達が声を上げ始めた

原発立地の自治体にあつて、これまで原発反対の声を公然とは上げられなかった東海村はじめ周辺自治体の女性達、とりわけ若いお母さん達が、これまで長く原発に反対してきた先輩お母さん達の後押しもあつて、福島第一原発事故後に「子ども達を守るには、自分から動かないといけない」と立ち上がりました。

東海村では村上村長が、常総生協組合員からの手紙がきっかけとなり、刺激となつて、村内のお母さん達と結びついて脱原発の運動を進める新しい動きも出てきました。



2/26東海第2原発ハイロアクション後の村上村長とお母さん達との対話集会

避をきっかけに、無我夢中で「子供に何を飲ませたら良いか、何を食べさせて良いか、まったく分からない」中からママ友達と勉強会を始め、その後の原子力施設の設置の際も公開討論会などを開催してきました。現在も幼稚園児を持つ若いお母さん達の後押しをされています。今回、そうしたお母さん達を代表して「脱原発くらし見直し委員会」に参加して下さり、委員会のメンバーに「ぜひ県南と県北のお母さん達でつながり合ひましょう」と呼びかけられました。



4/10「脱原発くらし見直し委員会」での谷田部さん

●原発を止めるには、生協の枠を超えてつながり、広がって

谷田部さん達の提案を受けて、第一回は、日程が急遽決まり、直前でのお知らせとなりましたが、5月9日(水)にバスで東海村に行きます。ぜひご参加いただける方のご連絡お待ちしております。また、脱原発ネットワーク茨城のみなさんも一緒に参加します。

●県南でがんばってる常総生協のお母さん達とぜひ交流したい

4/10「脱原発くらし見直し委員会」には、東海村、那珂市、日立市、ひたちなか市、水戸市のお母さん達のまとめ役の谷田部裕子さんが参加。

谷田部さんは12年前のJCO臨界事故の時の屋内退

★生協でマイクロバスを用意します。急のご案内ですが、「参加します！」という方は、生協本部までお電話下さい。

【日時】2012年5月9日(水) 9:00生協本部(守谷)発 10:30東海村着

【場所】東海村のコミュニティセンター

【日程】※午前の部のみの参加も可

午前の部 10:30~12:30 『交流』「それぞれの思い、この一年そして今、立ち上がる時」

午後の部 13:00~15:00 『視察』東海第2原発、JCO臨界事故記念館

【交通手段】

- ・マイクロバスを2台手配する予定です。
- ・午前の部のみ参加の方は12:30東海村発、13:40生協着予定
- ・午後まで参加できる方は15:30東海村発、17:00生協着予定
- ・守谷本部とTXつくば駅前を集合場所にして時間を調整します。

【総代会に向けた春の地区懇談会①】

「総代会に向けての地区討議」参加者感想より

2012年度の総代会（6/9）に向けた春の地区懇談会が4/12～4/26にかけて14会場で開催されました。

東日本大震災、福島第一原発事故の発生という、今だかつてない出来事に遭遇することとなった2011年。原発事故による放射能汚染によって、私たちの生活環境は一変してしまいましたが、それでも「自分達で出来ることは、とにかく行動して、みんながんばった」2011年を振り返りながら、2012年度の活動について話し合いました。

参加された方の感想の中から紹介いたします。

○何が出来るか持ち寄り、考えて、これからの常総生協の活動につなげられれば！

出席できて楽しく過ごしました。ありがとうございます。原発事故における東電の対応の疑問点や県庁への訪問の詳細などをうかがえてとても勉強になりました。

また、参加されていた方のいろいろな体験、経験、知識など、それぞれを最大限に発揮(利用?)して何が出来るか持ち寄り、考えて、これからの常総生協の活動につなげられればと思う気持ちは素晴らしく感じました。国や政府が頼りにならない今、国民一人一人の意識を変えていかなければならないと思います。その意識の集まりが少しずつ大きくなり、「輪」ができ、つながった時、自治体も国も動かさずにはいられなくなり、「和」をもたらす時が来る様なになれば良いと思います。それが、革命なのかもしれません。

改めて考えさせられ、思いが馳せる一日でした。ありがとうございました。

(つくば地区 増本)



4/16利根地区

○生活が便利になった分だけ、問題が生じてくるという事を考えさせられました。

出席者は8名と少なかったですが、地区の担当理事さんの報告が聞けてよかったです。生産者の方への補償費用など気になっていましたが、ちゃんと補償されているとの報告で安心しました。

節電の話では「電子レンジ」「IH」は人体には良くない。特にレンジは身体への悪影響を考えれば使用しないほうが良いetc. やはり生活が便利になった分だけ問題が生じてくるという事を考えさせられました。(牛久地区 清水)

○東海村に対しても出来ることをやっていきたい。

3.11から1年以上たっても、未だにいろいろな問題があり、特に放射能についてはどうしていけばいいのか皆、なんとなく不安という状態です。

政府と東京電力に対しては、はっきり「ノー」を言い続けることが大事だとあらためて強く思いました。東海村に対しても出来ることをやっていきたいと思えます。(利根地区 久保)



4/24龍ヶ崎地区

○こうして集まってみると、まだまだ知らないことが・・・

1.まず、少しずつですが参加者が増えていることを嬉しく思います。場所や時間、その他の制約で参加できない方がいらっしゃると思いますので、機会を多くする工夫も必要かと思えます。

2.色々な手段を使って情報を仕入れているつもりですが、こうして集まってみるとまだまだ知らないことがある。即ち、まだ隠されていることがあるという事実が驚かされます。東海原発の主蒸気弁170回の手動操作で、ようやく停止の件はショックでした。

3.土壌の採取と測定お世話様でした。関わった皆様に感謝しています。結果の「読解」は難しいです。やはり学習会が必要です。

4.情報も状況も刻々と変わる中で、信頼できる情報源を探すのは一苦労です。お奨めの本やwebサイトを紹介し合いたいと思うのですが(以前提出したものはもう古くなっています)。

5.上にも関連して
岩波ブックレット 矢ヶ崎克馬他著「内部被爆」お奨めです。先日(21日)の講演会でも矢ヶ崎先生のお人柄に触れることができましたが、この本には先生の熱い想いと行動力があふれています。

そして何より今年3月の発行で内容は最新、解説は丁寧、歴史的な背景にも言及していただかずか71ページにまとめてあります。

6.加藤さんが何人分もの活躍をしてくださったお陰で龍ヶ崎もここまで来たというのが実感です。次年度も理事を引き受けてくださるとのこと、頼もしくありがたく思っています。

私達も息切れしないように頑張ってお支えていきますので、宜しくお願いします。

(龍ヶ崎地区 茂田)

○マジメな生協にはマジメな組合員が集まるのですね！

若いお母さん達の放射能に対する取り組みには感心しました。真剣な気持ちに少しでも私達が手助けしなければいけないんだなあと感じました。

また、個々の組合員さんが特技、考え、知恵等いろいろ持っているようですので、みんなで自分の力を発揮すれば、きっともっと良い常総生協になると思います。マジメな生協にはマジメな組合員が集まるのですね。今回何も考えず、好き勝手な事言ってしまうましたが、全体の事を考えて少しずつ前進できればと思っています。

(守谷地区 後藤)



4/16守谷地区

【お詫びと訂正】

●4月4回「ニュースレター」本紙4ページにて「ガラスバッチによる追加被ばく線量調査結果報告」を掲載しましたが、下記の通り単位が抜けていましたので訂正いたします。

- ・茨城県取手市で「0.6 Sv/年」 → (正) 「0.6mSv/年」
- ・茨城県守谷市で「0.72 Sv/年」 → (正) 「0.72mSv/年」
- ・茨城県土浦市で「0.6 Sv/年」 → (正) 「0.6mSv/年」